

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(H.17 年 3 月 28 日作成)

委員会名	地域環境評価と心理生理 WG	主 査 名：山中 俊夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境心理生理小委員会	委員長名：讃井 純一郎
設 置 期 間	2003 年 4 月～2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	光環境、熱環境、音環境、空気環境などの統合評価に関する知見を発展させ、心理生理反応の複合効果を考慮した新たな地域環境評価法確立のための基礎を築くことを目的とする 2004 年度は、評価法確立のための方法論について検討し、評価モデルに関する検討、主体別評価シートの作成、行政における評価法活用に関する検討について個別に資料収集を行うことを主たる活動内容とする。	
委員構成 (委員名(所属))	秋田剛(東京電機大学),石田泰一郎(京都大学大学院),井上容子(奈良女子大学),合掌顕(岐阜大学),鈴木広隆(大阪市立大学大学院),竹原広実(京都ノートルダム女子大学),土田義郎(金沢工業大学),鍋島美奈子(大阪市立大学),西名大作(広島大学),原直也(関西大学),松原斎樹(京都府立大学),光田恵(大同工業大学),宮本征一(摂南大学),山中俊夫(大阪大学大学院),渡邊慎一(大同工業大学)	
設置 SWG (SWG 名:目的)	地域環境評価モデル SWG: 環境の複合的影響を考えた評価法の一般的モデルを提案すること。	
2004 年度予算	224,000 円	

項目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年度 第一回 6.19 日 10 人、第二回 8.2 日 5 人、第三回 10.9 日 9 人、第四回 12.10 日 7 人、第五回 3.12 日 8 人
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域や都市空間の環境評価法に関連した既往文献の収集</li> <li>・ 地域環境評価における心理評価モデルの誘導</li> <li>・ 環境工学的アプローチによる住民主導型街づくり支援の検討</li> <li>・ 街路の温熱環境評価に関する検討と整理</li> </ul> <p>得られた成果は「地域環境の評価モデルを考える ～市街地の街路空間・オープンスペースを例として」2005 年 5 月 21 日に公表される。その際、シンポジウム資料と同時に、収集した既往文献の一覧を資料として公表する。</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>行政における評価法活用に関する検討は、2003 年度の公開研究会において報告、議論され、評価モデルに関する成果は、及び、各活動の資料収集については 2005 年に開催されるシンポジウムを公表の場として企画している。</p> <p>評価モデルの確立に向けて方法論は検討されたもののその確立には至っておらず、また、主体別評価シートの作成には至っていないが、ほぼ、当初の目標である心理生理反応の複合効果を考慮した新たな地域環境評価法確立のための基礎の構築は達成出来た。</p>
その他評価すべき事項	本 WG の活動成果の一部は、既に公開研究会(2004 年 3 月 9 日開催)にて公表されている。